

# 自立貢献

あいさつは あふれる笑顔の あいことば

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/school/jhs/nishikidai/>

横浜市立錦台中学校 学校だより

発行日 平成28年5月26日(木)

発行者 学校長 梅澤 薫

所在地 神奈川区西寺尾3-10-1

電話 401-3644 FAX431-0244

## 自分を見つめる ～次のステップへの準備～

校長 梅澤 薫

学校では5月のゴールデンウィークを一つの節目とし、ゴールデンウィークが終わると「いよいよ本格的なスタート」などと、よく言います。本校でも各学年がゴールデンウィークを挟んで様々な活動に取り組み始め、いよいよ学校が「本格的に」動き出しました。

一年生は「みどりンピック」の開催や自然教室へ向けた準備を通して、学級作り、学年づくりが進んでいます。2日間での成長が本当に楽しみです。二年生は東京校外活動の準備はもちろん、部活動においては「後輩」を迎え、責任感のある態度で今まで以上に堂々と活動しはじめました。そして三年生、学校の顔としての自覚を感じる言動、仕草が随所に見られます。間近に迫った修学旅行ではどんな一面を魅せてくれるのでしょうか。大いに期待せずにはられません。他にも体育祭や文化祭のように、ていねいな準備を要する大きな行事が話題になり始めました。日々の部活動、学級活動や委員会活動、そして学習についても1年を通じてがんばらなければなりません。6月には期末テストが控えています。

こうして1年間の学校生活を改めて見つめてみると、年間を通じて個人で、あるいは仲間と協力して成果を上げていくことが求められる様々なことがあります。それらの活動を通じて数多くの成功体験ができるように、先生方をはじめ多くの人が生徒の皆さんを応援しています。しかし、時には努力を重ねても失敗を繰り返してしまい、思うような結果に結びつかないこともあります。特に一生懸命取り組んだにもかかわらず良い結果を出せなかった時はショックも大きく、しばらくの間ダメージをぬぐえないこともあるでしょう。「努力しても思うようにできなかった」という思いは、無意識のうちに一生懸命取り組むことを避けるようにさせるかもしれません。生徒の皆さん、どうですか。

一生懸命取り組むからこそ、自分の「現在の力」を知ることができます。自分を正しく知ることによって取り組みの質が上がり、いずれ望んでいた成果に結びつくという好循環が生まれます。いい加減な態度で取り組み、満足できる結果を得られなかった時に「ちゃんとやらなかったから」などと言い訳しては、自らを成長させ、実力を磨くことはいつまでも叶わないでしょう。

今できる最高の取り組みを続け、結果を「それまでの自分の学び、心構え」と謙虚に受け止め、次のステップへの一歩とできるといいですね。

各学年とも力を発揮する場面がたくさん待っています。大いに期待しています。